



復興庁

Reconstruction Agency

第37号

平成27年10月15日発行

宮城復興局気仙沼支所

気仙沼市笹が陣3-5

気仙沼市シルバー人材センター内

つちおと

9/30^水

～ 南三陸町の小森サケふ化場が完成しました！ ～



種卵管理室

9月30日、南三陸町小森サケふ化場が完成しました。

これにより水尻サケふ化場（稚魚池）と合わせると、震災前に近い一千万尾の稚魚の放流ができます。これまで市場の水揚げの5割以上を占めるシロサケ水揚げ量の安定的な確保が可能となり、水産業復興、発展の大きな牽引力になる施設です。

◆10月6日（火）に三陸沿岸道路「唐桑高田道路」（唐桑地区のトンネル工事）の安全祈願祭が行われました。宮城県と岩手県をつなぐ「（仮称）県境トンネル（延長910m）」の工事に着手することになり、被災地の一日も早い復興と工事の安全を祈念し、関係者約100名が出席し行われたものでした。

このトンネルを含む（仮称）唐桑北IC（気仙沼市唐桑町館）から陸前高田IC（陸前高田竹駒町相川）までの延長10kmの道路が平成30年度の供用に向けて工事を推進していくことになります。

早期復興を図る復興道路として位置づけられており、日増しに槌音（つちおと）が高くなってきていると感じられます。（桜）

～ 進む震災復興! ～

気仙沼市では、住まいの復興が目に見えてきました。防集事業による宅地造成が完成して自宅再建に移りつつある地区（9月末）を紹介いたします。



- あかいわおだ
・ **赤岩小田地区**：北に神山川に隣接する田園内に位置し、周囲は松岩北防集の整備が進む、平成27年4月引き渡し5区画中5戸建築。



- はじかみすぎ
・ **波路上杉の下地区**：杉の下地区で被災した皆様が長磯原ノ沢地区に移転再建、平成27年4月引き渡し5区画中3戸建築。



- まつきまるもり
・ **松崎丸森地区**：市西部丘陵地に位置し、平成27年4月引き渡し5区画中5戸建築。



- もとよしつや
・ **本吉津谷地区**：津谷小学校東に位置し、平成27年4月引き渡し5区画中5戸建築。



- はじかみうちだ
・ **波路上内田地区**：波路上漁港北西の高台に位置し、東に気仙沼湾口と大島を望む、平成27年4月引き渡し5区画中5戸建築。



- こいずみまち
・ **小泉町地区**：小泉地区西高台に位置する本吉最大の団地、災害公営住宅、集会所併設、平成27年5月引き渡し68区画中32戸建築。

9/13日

～気仙沼市の地方創生戦略策定に向けて！ 分科会の様子～

気仙沼市では、「気仙沼市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に向けて、「けせんぬま創生戦略会議」、および、市民や、企業・市民団体などの方々と構成する「けせんぬま創生戦略会議分科会」を立ち上げ、会合を重ねてきました。分科会は、具体的な地方創生の取り組みを検討する役割を担い、これまで「熱量のある」話し合いをもってきやうです。9月13日には、分科会の12チームがそれぞれ考えた取り組み（けせんぬま創生先導プロジェクト）を発表し、投票が行われました。これらは今後、上述の総合戦略に反映される予定となっています。分科会の委員の一人である杉浦美里さんは「こういった場合は、市民が市の政策策定に関わることのできる貴重な機会」、「様々な立場の人が意見を交わすことで生産的な話し合いができた」とコメントしています。



会場の様子

10/5月

～復興^{アイ}全力Iターン！ 気仙沼市 小町香織さんに聞く。～

復興だけでなく地方創生への取り組みも求められている昨今、人口の減少や水産加工場等での人手不足が課題の1つとなっています。そんな中、街の外からの定住者、Iターンが注目されています。Iターン人材を通じて被災地の魅力を掘り起こそうと、今回も気仙沼市にIターンされた方にお話を聞いてみました。

－気仙沼にIターンされたきっかけは？

富山県出身ですが、震災直後の2011年4月に仙台の大学に入りました。気仙沼に初めて来たのは2014年11月です。知り合いに連れられて唐桑の漁師さんにお会いし、ホタテの耳つり作業などさせていただく機会があり、地元の方と楽しい時間を過ごしました。その時、すでに気仙沼にIターンしていた人たちともお会いしました。好きなことをして生きるということについて語られ、魅かれるものがあつたので、今年の4月から自分も気仙沼に住むことに決めました。

－気仙沼市でのお仕事は何ですか？

地域づくり推進課で、担い手育成支援事業を担当しています。まちづくりへ参加する意識を市内の20、30代の若手の中に育てる事業です。具体的にはぬま大学、ぬま塾、そして「まちあるき」で、私はまちあるきを中心にやっています。市内の団体とも連携して、市外から来る大学生と、地元の若者が一緒に地域を歩く中で、地元の新たな魅力に気付くきっかけ作りをしています。地元にも当然のようにあるモノ（例えば植物や昔の道具）に、市外の人が聞くとびっくりするようなストーリーがあつたりするのです。市外からの参加者も楽しみ、地元の人も元気をもらえた、と喜ばれています。気仙沼の人は地元にも愛着があり、地域についてよく知っている方が多いので、素敵だなと思います。

－気仙沼の魅力は何だと思いますか？

仙台での大学生活の中では、地域の人たちと関わるのがなかったのですが、初めて気仙沼に来て漁師さんのところで一緒にホタテの耳つり作業をしたとき、地元のおばさんたちとおしゃべりがとても楽しくて、気仙沼の人の面白さ、温かさを大きな魅力に感じました。

－今後の抱負は？

まずは仕事に慣れることです。今やっているまちあるきは前任者から引き継いだ内容なので、今後自分らしさを出した企画をできるよう頑張りたいです。それから、地元とのかかわりを大事にしたい。唐桑で過ごす時間をもっと増やしていきたいと思っています。



小町さん、ご協力ありがとうございました。

復興関連イベント

各地で開催される
復興イベントをご紹介します。

【10月21日（水）】みやぎ復興住宅フォーラム ～住まいの復興に向けて～ 【仙台市】

震災から5年目の節目の年度にあたり、復旧・復興がどこまで進んでいるのか、また今に至るまでどのような取組が行われてきたのかを伝えるために「みやぎ復興住宅フォーラム」を開催します。フォーラムでは「住まい」の復興に焦点を絞り、東松島市宮戸島のまちづくりに携わった建築家の妹島和世氏、南三陸町でデザインの力による復興支援活動を行った宮城大学准教授の中田千彦氏を迎え、住まいの復興と新しいまちづくりについて議論を深めます。参加無料。定員200名。

◇ 開始日時 14:00～16:00（開場13:30）

◇ 会場 宮城県庁2階講堂 参加無料 ◇ 問い合わせ先 事務局／宮城県土木部住宅課企画調査班 022-211-3256

【11月1日（日）】2015 南三陸町産業フェア 【南三陸町】

南三陸町の青い海と緑の山々から恵みを町内の農業・林業・水産業・商工業が一体となり、地場商品を一堂に集め、展示・即売する一大産業祭！ ◇ 開催日時 9:00～14:00（予定） ◇ 開催時間 南三陸町ベイサイドアリーナ周辺（予定）

◇ 問い合わせ先 南三陸町産業フェア実行委員会 0226-46-1378

け
せ
ん
ぬ
ま

方言パズル

◆ 問①～⑥を意味する気仙沼地方の方言は何でしょうか。
◆ 最後は色付きの枠に入る文字を並べて、言葉を作りましょう。

問① 水に浸してふやかすこと。

る が

問② 怠け者。

か ね や

問③ 散らかす。

っ つ ら す

問④ 仲間に入りませんか？一緒にどうぞ。

は ら ん

問⑤ うたた寝。

ど ご ろ

問⑥ からかう。

す っ げ

問① 問② 問③ 問④ 問⑤ 問⑥



気仙沼市のキャッチ
フレーズのひとつです！

【編集後記】

◆ 5カ月ぶりにスポーツをしました。体中、筋肉痛など、大変なことになりました。もう一度、日々の鍛錬に努めたいと思います。

（前号のクロスワードの回答）

①	ど	く	④	し	⑥	よ
	ん			⑤	し	り
②	こ	③	う	よ	う	
			ま			ど

つちおと第33号に掲載された、気仙沼市 田の沢工区は場整備事業で復活した田んぼ。その稲刈りの様子です。



これまでに発行した「つちおと」は、復興庁ホームページで御覧いただくことができます。

- ①復興庁のホームページ
- ②宮城復興局
- ③気仙沼支所だより「つちおと」

「つちおと」発行元（お問い合わせ先）

復興庁 宮城復興局 気仙沼支所
電話 0226-23-5301
FAX 0226-23-5310

復興庁ホームページ
<http://www.reconstruction.go.jp/>